

Q17 道徳的行為に関する体験的な学習とは、どういったものでしょうか。



役割演技や動作化などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う学習のことです。

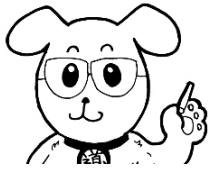


問題や

役割演技などの体験的な学習を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解する。

的価値

問題場面や学習に体験して、自分ならどう行動をとるかという問題解決のための役割演技を取り入れる。



体験的行為や活動を目的として行うのではなく、適切に取り入れ、道徳的価値の意義などについて考えを深めるようにすることが重要です。

○道徳的行為をしたときの心情や思いを引き出すための体験的な活動

4年生の教材「おじいさんのこんにちは」

おじいさんと一緒に歩いている主人公が、おじいさんの相手に合わせた「こんにちは」を聞いて、相手を考えた礼儀について深めることができる教材である。

教師のねがい

礼儀の良さや難しさを考えさせたい。
相手に思いやりの言葉をかける親切について考えさせたい。

挨拶はしないといけないこと。
言えばいいと思う。

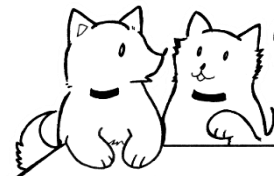


T: どんな思いで挨拶しているのか実際にやってみよう。

挨拶や丁寧な言葉遣いなどの道徳的行為

体験的な学習

挨拶をされた相手はどう思うのかな。
相手がどう聞こえるのか考える挨拶がいいね



○役割演技をして、心情や思いを引き出すための疑似体験的な活動

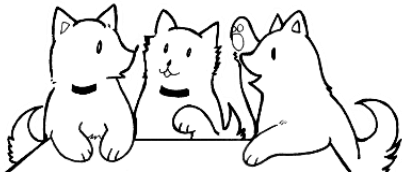
1年生の教材「およげないりすさん」(わたしたちの道徳)

3人は、泳げないりすさんを1人残して、島へ渡り遊ぶが少しも楽しくなく、1人ぼっちになっているりすさんのことを考え始め、友情・信頼について考えることができる教材。

教師のねがい

泳げないからといって残してしまった友達のことについて考える場面を即興的に演じさせて、相手のことを考える体験をさせたい。

泳げないから、一緒に遊べないよ。
仕方ないよね。

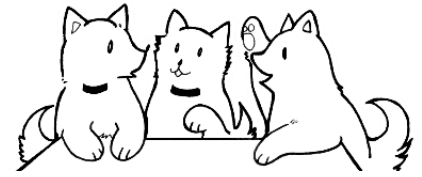


T: りすさんのことが気になったみんなはどんな相談をしたのでしょうか。

りすさんのことを考えて友達に対する思いを引き出す疑似体験な活動

体験的な学習

一人で寂しくないかな。
やっぱりみんながいないと楽しめないね。



○役割を交代して、自分との関わりで多面的・多角的に考える体験的な活動

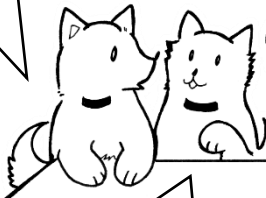
5年生の教材「いこいの広場」(光村図書)

誰にも迷惑をかけないので、自分たちの行動は正しいと思っている中学生に、それは間違っているとたしなめるおじさん。中学生とおじさんのやり取りを通して、責任ある行動について考えることのできる教材。

教師のねがい

中学生やおじさんなどのそれぞれの立場の考え方から、公の場の利用するときの責任ある行動について考えさせたい。

気を付けてやっていますし…。



でも、失敗しないなんて言い切れないよ。

T: おじさんと話をする中学生はどんなことを考えたのでしょうか。

中学生とおじさんの役割を交代して、多面的・多角的に考えを出す体験活動

中学生

おじさん

気を付けて遊んでいても、失敗して小さい子にも迷惑になることがあるよ。

